

一二七四番

住吉すみのえの出見いでみの浜はまの柴しばな刈かりそね 娘をとめ子らが  
赤裳あかもの裾すその濡ぬれて行いかむ見みむ

一二七五番

住吉すみのえの小田をだを刈からす兎こ 奴やつこかもなき 奴やつこあれ  
ど 妹いもがみためと 私田わたくしだか刈る

一二七六番

池いけの辺への小槻をつきが下もとの篠しのな刈かりそね それをだ  
に 君きみが形見かたみに見みつつ偲しのはむ

一二七七番

天あめなる 日売ひめすがはら菅原の草くさな刈かりそね 蜷みなの腸わたか  
黒くろき髪かみに あくたし付つくも